男子決勝

船橋　48　合　計　47　七林

14　1　P　9

8　2　P　8

15　3　P　13

11　4　P　17

〔評〕決勝戦、船橋中対七林中。立ち上がり船橋中は、④市場、⑤草田のミドルシュート3Pで得点を重ねる。七林中は、速攻を中心とする速い攻めで点差を縮める。1Qは14対9で船橋中がリードして終える。2Qに入り、船橋はドライブを軸に攻めてファールを誘い、フリースローで得点を伸ばす。七林中は、堅い守りでDFリバウンドからの速い攻めで得点を重ね、食らいつく。22対17と船橋中が5点リードして前半が終了した。3Qに入り、七林中は⑤武田の3P⑥赤間のゴール下の連続得点で逆転に成功し、すかさず船橋中はTOを取る。その後、七林中のターンオーバーから船橋中は④市場、⑥小豆畑の

20×20

連続得点で再度逆転する。３７対３０で船橋中が７点リードして３Ｑが終了する。４Ｑに入り、船橋中は１対１を中心に攻めて得点を重ねていく。七林中は、⑥赤間⑧落合のポストプレイを軸にして中外バランスよく攻めて点差を縮めた。しかし、七林中は一歩及ばず船橋中が４８対４７で秋季大会に続いての優勝を果たした。

敗れた七林中にも、最後まで諦めずにボールを追う姿勢に会場から大きな拍手が送られた。

20 × 20